



センターニュースをお読みの皆様へ

昨年9月より医務部部長を拝命しました。これまで副部長として仕事をしてきたため仕事の内容は変わらないのですが、より主体的に、よりスピーディーに仕事を進めていく所存です。喫緊の課題としては新型コロナウイルス感染症への対策が挙げられるでしょう。感染のリスクを可能な限り低減しながらも外来診療やリハビリテーションを切れ目なく提供し続けるには、時に曲芸的なかじ取りが求めら

れます。たとえば昨年12月から臨時的にオンライン診療を開始したのですが、職員一丸となり、ほぼ3週間で準備しました。このように当面は職員に負担をかけることとなりますが、外来をご利用の皆さまのニーズに応えられるよう、職務を遂行して参ります。

医務部部長
野村 健介

映像一斉配信コンサートを実施しました

12月20日(日)の午後、当センターとしては初の試みとして映像一斉配信コンサートを実施しました。感染対策に配慮し、同時間に6つの病棟へ楽しいフラダンス映像を送信し、鑑賞して頂きました。「ミノアカノ カオイ スタジオ」の皆様から島田限定公開のYouTube動画として提供して頂いたもので、ダンス・お話・ウクレレ演奏を全病棟で楽しむことが出来ました。利用者様はそれぞれの病棟で、大型テレビやスクリーン映像から素敵な笑顔と温かなメッセージを受け止めたようです。

(編集委員 高橋節夫)



寄付・寄贈のご報告

ご寄付

毎年行われている株式会社プリンセススクウェア様主催のクリスマスパーティーが、昨年12月7日(月)に開催されました。コロナ禍の状況を鑑みて、当センターからはビデオレターでの参加とさせていただきます。また、このパーティーを通じて8,429,000円のご寄付をいただきました。このような状況下においても、島田療育センターへお気持ちを向けてくださることに感謝いたします。



ビデオレターのワンシーン

ご寄贈

12月12日(土)に病棟で行われたクリスマス会にて、島田療育センターを守る会様より、利用者様へ「ル・ジャルダン・ブルー」のクリスマスムースを、職員へ「ぐりーんぴーす工房」のクリスマスクッキーをいただきました。美味しいムースに舌鼓を打ち、楽しいひとときを過ごすことができました。毎年変わらぬご厚意に感謝いたします。



クリスマスムース



クリスマスクッキー

(編集委員 岸水 美知恵)

個人情報保護研修

今年度は感染症対策のため、個人情報保護研修も録画した研修内容を個別に視聴する形式で実施しました。全職員対象で昨年12月21日から開始し今年2月1日までが受講期間でした。



啓発ビデオの後、個人情報保護推進委員会（以下、委員会）委員の津野情報機器管理主任より、委員会の役割や取組みについて解説しました。

2020年度は新たな取組みとして、当センターへお越しの方々に施設内の撮影・録音についてのルールをご理解・ご協力いただくため、ポスターを作成しました。各部署に掲示する予定なので、職員にも周知するよう努めたいと思います。（編集委員 宮田 雅美）

島田療育センター集談会

昨年11月30日（月）から、第10回島田療育センター集談会を開催しました。今回は感染対策の観点から、発表内容を予め動画として作成するオンデマンド方式での実施となりました。また、ポスター発表は指定の場所に1週間掲示し、その後はパソコン上で閲覧できるようにしています。



今までは異なる実施方法のため、視聴する時間の確保や部署ごとの視聴環境の違いなど課題は残りますが、コロナ禍における実施方法として今後も活用を進めたいと思います。

（編集委員 神田 水太）



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？

このコーナーはネットワークしまでで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。



発声や身振りだけで要求を伝えます。意味のあることばにつなげていくために必要なことはありますか？



幼児期のお子さんは音の聞こえ方や口の動かし方が未熟なことが多いです。聞こえ方は基本的にはお子さんの成長を待つことが大切です。お子さんの話し方を訂正するのではなく、正しい音をさりげなく聞かせてあげましょう。また、口を上手に動かすには筋力が必要です。ですが、ただお口の筋肉だけ鍛えるのはなかなか難しいものです。からだをいっぱい使って遊ぶと自然とお口の動きもはっきりしていきます。

コミュニケーションでは身振りも大切な表現方法の一つです。私たち大人も話しかけただけでなく、指差しや身振りを使いながら人とコミュニケーションをとっています。



お子さんが身振りで表現できた時にはぜひ褒め、それにこたえてあげましょう。そうすると、「もっといろいろな表現したい！」というお子さんの相手に伝えたい気持ちが育っていくと思います。

（言語聴覚士 嶋原 礼子）

参考文献

1・2・3歳ことばの遅い子—ことばを育てる暮らしの中のヒント

地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業（療育相談）

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業（訪問相談）

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101（直通）

発行者

社会福祉法人
日本心身障害児協会

島田療育センター

〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL

042 (374) 2071 (代表)

URL

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

